

介護する家族にとっての ターニングポイント

ある日突然、家族が病いに倒れ、介護が自分の問題となったら…。介護は突然やってきて、長期に及ぶこともあります。ALSという難病を抱えて生きる実母を介護した経験から、素晴らしい著作を生み出した川口有美子さんをお迎えして、介護のある日常とはどんな日々だったのかを語っていただきます。介護する家族は様々な決断を迫られます。介護を経験した人もそうでない人も、それぞれの立場から、一緒に介護を考えてみませんか。講演会後には講演者と参加者の交流会も予定しています。ぜひお気軽にご参加下さい。多くの方々のご参加をお待ちしております。

講演者

かわぐち ゆみこ
川口 有美子



1962年生まれ。
1995年に実母がALSに罹患し、
実家での介護が始まる。
以後13年間の介護生活を綴った
「逝かない身体-ALS的日常を生きる」(2009年、医学書院)は、第41回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。2003年に訪問介護事業所ケアサポートモモ、NPO法人ALS/MND国際同盟会議理事就任。日本ALS協会理事。

日時 2014年3月1日(土)

13:30～15:00 講演 (13:00 受付開始)
15:00～16:30 交流会

参加費 無料

保育あり
*学内参加者限定

場所 京都大学南部総合研究1号館・再生研西館
共同セミナー室1

対象者：京都大学に所属する学生・教職員、その家族、一般の方

定員：60名(先着順、うち一般の方は30名まで)

申込方法：京都大学女性研究者支援センターのホームページ
(<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>) の介護講演会
申込み入力フォームより、お申込みください。

問合せ先：京都大学女性研究者支援センター

TEL：075-753-2437

E-mail:w-shien@mail.adm.kyoto-u.ac.jp



京都大学南部総合研究1号館・再生研西館
入口は春日通り沿いにあります



※駐車場はございません。当日は公共交通機関をご利用ください。

～学内参加者のお子さんの保育室を隣室に開設します～

保育をご希望の方は、2月20日(木)までに、講演会参加申込時に、お子様の
名前(よみがな)・性別・年齢・連絡先をお知らせください。

◆ 対象年齢：生後3ヶ月～小学校3年生 ◆ 保育時間：13:00～17:00